

4 普及啓発・利用促進

(1) 歴史講座

県民の郷土の歴史や文化に対する理解と認識を深めることを目的に、平成6年度から歴史講座を開催している。

きのくに志学館での開催に加え、市町村や県立高校等との共催による県内各地での開催にも取り組んでいる。



写真1 歴史講座

歴史講座一覧

年度	回	内容	講師 (※肩書は当時)	受講者数
平成6	テーマ「和歌山時代の吉宗」			
	1	今なぜ吉宗か	安藤 精一 (和歌山大学名誉教授)	150
	2	吉宗の出自と史跡	小山 譽城 (県立那賀高校教諭)	120
	3	吉宗時代の和歌山	笠原 正夫 (和歌山工業高等専門学校講師)	110
	4	大河ドラマと吉宗	三尾 功 (和歌山市立博物館長)	116
平成7	テーマ「紀州の特産物Ⅰ」			
	1	紀州みかんと古文書	遊佐 教寛 (当館嘱託研究員)	61
	2	有田みかん江戸輸送	上村 雅洋 (和歌山大学教授)	62
	3	紀州みかんの歴史	安藤 精一 (和歌山大学名誉教授)	60
	【田辺市開催】テーマ「紀州の特産物Ⅱ」(於 紀南文化会館)			
	1	紀州漁民と海産物	笠原 正夫 (鈴鹿国際大学講師)	27
2	紀州の林業と備長炭	岸 彰則 (田辺市文化財審議会委員)	21	
平成8	【新宮市開催】テーマ「熊野の歴史と資料」(於 新宮商工会議所)			
	1	紀州藩と新宮領	遊佐 教寛 (当館嘱託研究員)	108
	2	丹鶴城と熊野	水島 大二 (県立和歌山工業高校教諭)	94
	3	那智参詣曼荼羅の世界	山本 殖生 (熊野三山協議会幹事)	82
平成9	【御坊市・日高地方開催】テーマ「日高地方の歴史を旅する」			
	1	日高廻船の発展 (於 御坊地域職業訓練センター)	上村 雅洋 (和歌山大学教授)	31
	2	由良町にゆかりのある人たち — 菊池海荘と由良守応を中心に— (於 由良町中央公民館)	垣内 貞 (湯浅町文化財保護審議会委員長)	27
3	有馬皇子と熊野古道 (於 南部町公民館)	吉田 昌生 (藤白神社宮司)	31	

年度	回	内容	講師 (※肩書は当時)	受講者数
平成 10	【橋本市開催】 テーマ「中世伊都地方の歴史散策」(於 橋本市教育文化会館)			
	1	梶田荘 ^{かじだのしやう} 絵図の世界	額田 雅裕 (和歌山地理学会幹事)	50
	2	中将姫伝説と糸のかけ橋	松原 右樹 (貝塚市文化財保護審議会委員)	55
	3	中世高野山文書の伝来と保存	山陰 加春夫 (高野山大学教授)	40
平成 11	【新宮市開催】 テーマ「熊野地方の歴史と文化」(於 新宮商工会議所)			
	1	南北朝と熊野	前 千雄 (熊野歴史研究会会長)	64
	2	弁慶の説話的構造	中瀬 喜陽 (田辺市文化財審議会委員)	55
	3	熊野別当について	阪本 敏行 (県立日高高校教諭)	53
平成 12	テーマ「紀州徳川家の歴史と文化を探る」			
	1	紀州徳川家と和歌浦東照宮 (於 県立近代美術館)	小田 誠太郎 (県教育委員会文化財課主任)	50
	2	紀州徳川家と和歌山城	水島 大二 (県立和歌山高校教諭)	42
	3	将軍家と紀州徳川家	小山 譽城 (県立陵雲高校教諭)	40
平成 13	テーマ「和歌山県史『古代史料二』」			
	1	熊野道之間愚記Ⅰ	立花 秀浩 (当館館長)	57
	2	熊野道之間愚記Ⅱ		52
	3	熊野道之間愚記Ⅲ		48
平成 14	テーマ「和歌山県史『近現代一』」			
	1	友ヶ島、加太・深山 ^{みやま} の要塞Ⅰ	森脇 義夫 (当館文書課長)	97
	2	友ヶ島、加太・深山の要塞Ⅱ		76
	3	和歌山医学校、新和歌浦の発展、北山村の飛地		68
平成 15	1	和歌山の風土と歴史	安藤 精一 (和歌山大学名誉教授)	82
	2	市町村の誕生	高嶋 雅明 (和歌山大学教授)	65
	3	昭和の市町村大合併		54
平成 16	1	南方熊楠が見た熊野の自然とその現在	土永 知子 (県立田辺高校教諭)	70
	2	①和歌山の街道 (古座街道・高野街道) ②明治 22 年大洪水と熊野本宮大社	①森脇 義夫 (当館文書課長) ②伊藤 信明 (当館嘱託研究員)	73
	3	和歌山の街道 (古座街道・高野街道)	森脇 義夫 (当館文書課長)	46
平成 17	1	和歌山における初等教育のはじまりと展開	馬場 一博 (県教育庁総務課秘書班長)	51
	2	紀州の藩学と庶民教育	小山 譽城 (県立陵雲高校教諭)	48
	3	学徒勤労働員と戦時期の和歌山の学校	笠原 正夫 (鈴鹿国際大学非常勤講師)	45
	4	明治期和歌山の中等教育の魅力	曾野 洋 (玉川大学助教授・慶應義塾大学客員研究員)	40
	5	紀州和歌山の英語教育史を掘りおこす	江利川 春雄 (和歌山大学教授)	35
	6	和歌山における師範学校の設置と教員養成	山田 昇 (奈良女子大学名誉教授)	40
平成 18	1	天野社の祭祀と伝承	伊藤 信明 (当館嘱託研究員)	70
	2	幕末紀州の世相と本屋の動向	須山 高明 (当館主任)	72
	3	漱石が見た和歌山の風景 —絵葉書写真を中心に—	溝端 佳則 (当館主任)	63

年度	回	内容	講師 (※肩書は当時)	受講者数
平成 19	1	出版物等に見る和歌山の書商	須山 高明 (当館主任)	59
	2	和歌山の街道Ⅰ (粉河街道)	森脇 義夫 (当館次長)	60
	3	和歌山の街道Ⅱ (隅田街道)		26
	【田辺市開催】(於 県立情報交流センター Big・U)			
		①旧田辺町とその周辺の風景 ②田辺を中心とした明治期の書商たち	①溝端 佳則 (当館主任) ②須山 高明 (当館主任)	47
平成 20	1	「和歌浦名所」を読み歩く	須山 高明 (当館主任)	61
	2	【和歌浦地域での現地散策】 ①「聖なる地—和歌の浦」 ②「奠供山から見た風景 今昔」	①立花 秀浩 (県文化財センター評議員) ②溝端 佳則 (当館主任)	55
平成 21	テーマ「『小梅日記』及び『雑記』にみられる幕末の紀州」			
	1	治宝の死と嘉永の政変	須山 高明 (当館主幹)	119
	2	「ちょぼくれ」と戯れ唄		85
	3	小梅は嘉永7年11月の東南海地震を記録していた		72
平成 22	1	城下町若山の庶民教育と本屋さんⅠ	須山 高明 (当館主幹)	64
	2	城下町若山の庶民教育と本屋さんⅡ		52
	3	和歌山の街道 (南部街道・御坊街道)Ⅰ	森脇 義夫 (当館次長)	56
	4	和歌山の街道 (南部街道・御坊街道)Ⅱ		42
平成 23	テーマ「幕末城下町和歌山の四方山話」			
	1	年中行事と通過儀礼Ⅰ	須山 高明 (当館主幹)	90
	2	年中行事と通過儀礼Ⅱ		74
	3	移し霊場と大師巡り		73
	4	俗信とまじない・趣味と娯楽		67
平成 24	テーマ「『紀伊国名所図会』を読もう」			
	1	『紀伊国名所図会』を読もうⅠ	須山 高明 (当館副主査)	72
	2	『紀伊国名所図会』を読もうⅡ		64
	3	『紀伊国名所図会』を読もうⅢ		54
平成 25	テーマ「幕末城下町和歌山に暮らした人々」			
	1	本町編	須山 高明 (当館副主査)	55
	2	四丁町編		42
	3	その他		42
平成 26	1	紀州藩大奥に生きた人びと	松島 由佳 (当館嘱託研究員)	67
	2	紀伊国名所図会のカナを読もうⅠ	須山 高明 (当館副主査)	57
	3	紀伊国名所図会のカナを読もうⅡ		53
平成 27	1	殿様と駿河屋の和菓子	砂川 佳子 (当館嘱託研究員)	55
	2	近代化のなかの「故郷」 —和歌山県人会のルーツをたずねて—	平良 聡弘 (当館嘱託研究員)	48
	3	斯くして藩政資料は残った	松島 由佳 (当館嘱託研究員)	47
	4	志賀南岡は学習館督学になれなかった	須山 高明 (当館副主査)	49

年度	回	内容	講師 (※肩書は当時)	受講者数
平成 28	1	近世紀州の名産・特産 ア・ラ・カ・ル・ト (1)	須山 高明 (当館副主査)	39
	2	近世紀州の名産・特産 ア・ラ・カ・ル・ト (2)		36
	3	徴兵を忌避する民衆たち —明治初期和歌山・園部の ^{じかた} 地方文書から—	平良 聡弘 (当館嘱託研究員)	33
平成 29	1	地域の中の「偉人」顕彰 —「勤王の志士」森田節齋をめぐる地域の人々—	平良 聡弘 (当館嘱託研究員)	24
	2	1km ² の場所の歴史から分かること —一切目川河口を事例として—	藤 隆宏 (当館主査)	22
	3	西行と和歌山	山東 良朗 (当館館長)	37
平成 30	1	田辺に残った与力たち —安藤家家臣団の『先祖書』から—	砂川 佳子 (当館嘱託研究員)	39
	2	和平への「努力」・野村吉三郎を考える	山東 良朗 (当館館長)	34
	3	県境に分断されたムラの団結 —旧牟婁郡花井村—	藤 隆宏 (当館主査)	36
令和元	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		—	—
令和 2	1	日高町 ^{おうら} 小浦浄土院 ^{たくひ} の焼火地蔵と漁師	松原 瑞枝 (県教育庁文化遺産課技師) 藤 隆宏 (当館主査)	32
	2	川上不白と紀州徳川家の茶の湯	砂川 佳子 (当館文書専門員)	43
	3	陸奥宗光の政治スタイル —〈外交史料展〉の展示史料を中心に—	平良 聡弘 (当館嘱託研究員)	29
令和 3	1	藩から県へ —和歌山の廃藩置県—	平良 聡弘 (当館嘱託研究員)	36
	2	和歌山県における明治期学校教育のはじまりと展開	馬場 一博 (海南市中央公民館長)	32
	3	和歌山県政の黎明 —新置県の歴史的課題—	平良 聡弘 (当館嘱託研究員)	28
	【申本町開催】 県立申本古座高校・県立文書館共催 「百年の青春 はまゆう館」 開設・「中根文庫」デジタルアーカイブ公開記念歴史講座 (於 申本古座高校)			
	①中根七郎と中根文庫 —古座からはじまる郷土史研究— ②学校に残る歴史資料の魅力と可能性 ③現在に伝えられた「災害の記憶」を未来につなげる	①砂川 佳子 (当館副主査) ②玉置 将人 (当館副主査) ③藤 隆宏 (当館主任)	46	
令和 4	1	家族のかたち —幕末維新期の名草郡園部村を事例に—	平良 聡弘 (当館嘱託研究員)	39
	2	①デジタルアーカイブでみる和歌山のすがた —地域の宝を未来に活かす— ②塩害とたたかう紀三井寺村の人たち	①玉置 将人 (当館副主査) ②西山 史朗 (当館嘱託研究員)	44
	3	エルトゥールル号事件 (1890 年) —海難事故をめぐる和歌山の動向—	平良 聡弘 (当館嘱託研究員)	37
	【広川町開催】 稲むらの火の館・県立文書館共催 稲むらの火講座 (於 稲むらの火の館)			
	「夏の夜かたり」 —地域資料からみる濱口梧陵と広村—	砂川 佳子 (当館副主査)	54	

*会場は特にことわりのない限り、きのくに志学館